

行

三年 6
 筆順 ナイ行行
 オン コウ・ギョウ・アン
 フン いロク・ユロク・おこなロウ

成り立ち

人 ^{コウ}行 ^カ交 ^{ミチ}交うみち のかたちをあらわした字です。

人がみちを「行く」ことをあらわした字です。

人がみちを「行く」ことは、人の「行為(行い)」の一つですから、「おこない」といういみにもつかいます。

〔コウは漢音、ギョウは呉音、アンは唐音である。唐音は、唐時代の音ではなくて、元・明・清などの新しい音で、鎌倉時代以後に伝来したものである。〕

唐時代の標準音が漢音で、遣唐使により奈良時代に伝来した。それ以前に、呉地方から伝来した方言が呉音である。わが国の古い言葉に多く残っている。〕

使い方

▽行進曲にあわせて、せんしゆだんが、にゆうじようしました。

▽「ゆうびんきよくに行くには、どう行ったらいいのですか」と、きかれたので、「このみちをまっすぐ行つて、やおやさんのかどを右にまがると、すぐゆうびんきよくがありますよ」と、おしえてあげました。

▽たろうは、わるい子どもでした。「行いをあらためないと、いまに、かみさまのばちがあたるよ」といわれて、こわくなり、「ほんとうに、かみさまのばちがあたるだらうか」と、かんがえるようになりました。それから、行いをあらためて、いい子になりました。どりよくしました。

熟語例

▽行進(たぐさんの人が、おなじほうこうに、たいれつをととのえて、進んで行くこと。)

▽行列(たぐさんの人が、列をつくってならぶこと。)

▽行為(行い。したり、やったりすること。「あの男の行為は、ひじょうにけしからん」など)

高

三年 10
 筆順 一 高 高
 オン コウ
 フン たか・たかいロまるロめる

成り立ち

高 ^{タカ}高 ^{タカ}高 ^{タカ}高 ^{タカ}高

「たかどの(たかいたてももの)」「のかたちをあらわしたもので、「たかい」といういみをあらわした字です。

「ていどが「たかい」といういみから、「すぐれている」といういみにもつかわれます。

また、「ご高せつ」というように、あい手をうやまつていうときにもつかいます。

使い方

▽ぼくのおにいさんは、高山にのぼるのが好きです。とてもきげんで、たいへんなのですが、そこがいいのだそうです。

▽日本でいちばん高い山は富士山です。富士山は高いばかりでなく、すがたがともうつくしく、気高いので、が。こくからも、たぐさんの人が富士山を見にやってきました。

▽かみなりは高いたてもものや高い木におちます。だから、かみなりがちかくでなりだしたら、高い木の下で雨やどりなどしてはいけません。そして高いたてもものには、かみなりをよけるひらいしんがついています。

熟語例

▽高山(高い山)

▽高価(価値が高いこと。ねだんが高いこと。「高価な宝石かぬすまれた」などといいます。)

▽高説(すぐれた説。あいてのいうことを、うやまつていいいかたです。「ご高説をうけたまわつて、かんぶくいたしました」などといいます。)